十二月五雲能

十二月十八日（土）
午後一時始

演目の解説

13:00

絵馬

男神 佐野弘宣
女神 佐野玄宜
姥 内藤飛能
シテ 東川尚史

ワキ 大日方寛
ワキツレ 野口琢弘
〃 小林克都
間 河野佑紀

後見 金森秀祥
小倉健太郎
澤田宏司
當山淳司

大鼓 亀井洋佑
小鼓 住駒匡彦

地謡 木谷哲也
金井賢郎
田崎甫

太鼓 徳田宗久
笛 栗林祐輔

高橋憲正
水上優
渡邊茂
金森良充

能「絵馬」（えま）

帝に仕える臣下が伊勢神宮に参詣すると、暗闇の中に白馬の黒馬の絵馬を持つた姥が現れまとす。臣下が問を持つた二人は来年の日を占う神事であると、答え、日光を乞うう白絵馬と、穀雨を乞う黒い絵馬を今年は初め正体を明かし掛け、消えの二神と失せます。勢やがて天照大神が女と舞を従えて現れ、颯爽とした男女二神を舞つた後、宮に隠れ、岩戸よりの神話に基づいた神楽に惹かれ、再び現れる。再現しとまいます。

14:30

文荷

能村晶人

石井康太
野村万之丞

〈休憩十五分〉

15:05

花筐

ツレ 今井瑞基
子方 内藤駿
シテ 大友順

ワキ 福王和幸
ワキツレ 村瀬慧
ワキツレ 矢野昌平

ワキツレ 村瀬提

後見 佐野由於
高橋亘

大鼓 柿原弘和
小鼓 飯田清一

地謡 鶴田航己
川瀬秋雅
隆士

笛 成田寛人

和久荘太郎
金井雄資
山内崇生
辰巳大二郎

能「花筐」（はながたみ）

越前の国にあつた大迹部皇子が武天皇の五代後に当たつて、武烈天皇の後継ぎとなりました。急遽都に上つて皇子に仕えるようにとの命を受けました。皇子は、自分の臣下を召し使われます。共に許されます。

15:50

小鍛冶

シテ 辰巳和磨

ワキ 梅村昌功
ワキツレ 則久英志
間 野村拳之介

後見 宝生和英
渡邊茂人
金野泰大

大鼓 大倉栄太郎
小鼓 曽和伊喜夫

地謡 石塚尚寿
上野能寛
朝倉大輔

太鼓 梶谷英樹
笛 熊本俊太郎

藪克徳
辰巳満次郎
小倉伸二郎
金森隆晋

〈休憩十五分〉

能「小鍛冶」（こかじ）

帝の霊夢によつて剣を打つ事を命ぜられた三条小鍛冶宗近は、自分に比肩する程の相槌がいないことに困り、氏神である稲荷明神に詣でます。そこに現れた童子は、帝に近かつたことを知つておりの謂われを語り、剣を打つ台を用意します。宗近は、勅諚があつた名剣を励まし、必ず助力をすると約束し、稲荷明神が狐となつて現れ、協力して剣を打ち上げます。

終演予定十七時五十分頃

チケット料金
（税込）
一般　5,500円
学生　2,750円
（当日学生証提示）

ご購入は
オンラインチケット
または
宝生会事務局まで

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

ARTS for the future!